

## 再生可能エネルギー導入推進戦略策定業務公募型プロポーザル審査基準

- 1 審査項目及び各配点は次のとおりとし、審査員6名が採点する。
- 2 合計点数の高いものから順に審査員ごとの順位をつける。
- 3 全企画提案者の中で各審査員がつけた1位の数が最も多かった者を受託候補者とする。  
なお、1位の者が複数の場合は、最も得点の高かった者を受託候補者とする。
- 4 提案者が1者の場合は、審査員採点の総和の平均60点以上をもって受託候補者とする。

## 審査基準

審査項目		審査の視点・判断基準	配点
組織 審査	1 履行実績	過去2年間に九州地方における再生可能エネルギー導入計画・ビジョン又は地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の実績はあるか。 ・ 実績が5件以上 ・ 実績が4件 ・ 実績が3件	5
	2 実施体制	適切な業務を提供できる体制か。 ・ 環境行政に精通した担当者の人数、配置、構成が妥当である。 ・ 環境行政に精通した担当者の人数、配置、構成にやや不足がある。 ・ 環境行政に精通した担当者の人数、配置、構成が妥当でない。	5
		脱炭素に関する有効な資格、業務に必要な知識・知見を有しているか。 ・ 同種業務の担当者としての経験があり、技術士（環境部門）及びエネルギー管理士の資格を有する技術者を管理技術者として配置している。 ・ 同種業務の担当者としての経験があり、技術士（環境部門）又はエネルギー管理士の資格を有する技術者を管理技術者として配置している。	5
提案 内容 審査	1 提案事項を実施するに当たっての取組方針	業務内容の理解度はあるか。 ・ 目的・条件・内容の理解度が高く、簡潔に記載されていると認められる。 ・ 目的・条件・内容の理解度にやや不足がある。 ・ 目的・条件・内容の理解度が低い。	10
	2 業務の実施手続	業務実施手続を示す業務フロー又は工程表等は妥当か。 ・ 業務フローや工程表等の妥当性が高い。 ・ 業務フローや工程表等の内容にやや不足がある。	5

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務フローや工程表等が妥当でない。</li> </ul>	
3	現況・課題への理解度	<p>現況・課題への理解は十分か。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現況・課題の理解度が高いと認められる。</li> <li>・ 現況・課題の理解度にやや不足がある。</li> <li>・ 現況・課題の理解度が低い。</li> </ul>	10
4	提案内容の的確性	<p>提案内容は業務要求水準を充足しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務要求水準を充足しており、課題の解決方法についても十分に確認できる。</li> <li>・ 業務要求水準に不足がある。</li> <li>・ 業務要求水準との差が大きい。</li> </ul>	5
5	特定テーマへの提案	<p>特定テーマ（再生可能エネルギーの活用対策）との整合性は高いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認できて、特定テーマに相応しい内容である。</li> <li>・ やや内容が不十分である。</li> <li>・ 特定テーマとの整合性が低い。</li> </ul>	10
		<p>特定テーマ（温室効果ガス排出量の削減対策）との整合性は高いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認できて、特定テーマに相応しい内容である。</li> <li>・ やや内容が不十分である。</li> <li>・ 特定テーマとの整合性が低い。</li> </ul>	10
		<p>特定テーマ（将来のビジョンや目標設定）との整合性は高いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認できて、特定テーマに相応しい内容である。</li> <li>・ やや内容が不十分である。</li> <li>・ 特定テーマとの整合性が低い。</li> </ul>	15
		<p>特定テーマ（環境基本計画改定への助言）との整合性は高いか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担当部署（環境水産課）からの要望に対し、その都度、技術的な助言が見込める。</li> <li>・ 担当部署（環境水産課）からの要望に対し、その都度の助言が見込めないが、定期的な助言が見込める。</li> <li>・ 助言が見込めるが、1・2回程度と少数である（又は助言は見込めない）。</li> </ul>	10
6	取組姿勢（プレゼンテーション）	<p>積極的に取り組む意欲を感じられるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組意欲が強い。</li> <li>・ 取組意欲がやや強い</li> <li>・ 取組意欲が弱い</li> </ul>	5

	<p>7 実現性 (プレゼンテーション)</p>	<p>提案内容の説得性・実現性が十分であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレゼンテーションが企画提案の内容をよく補完しており、専門技術を十分に発揮できると認められる。</li> <li>・ プレゼンテーションによる企画提案書の内容の補足がやや不十分である。</li> <li>・ プレゼンテーションによる企画提案書の内容の補足が不十分である。</li> </ul>	<p>5</p>
合計			<p>100</p>